

豊竹咲太夫文化功労者顕彰記念／文楽座命名一五〇年 令和4年 4月文楽公演 配役表

4月2日(土)～4月24日(日) ※13日(水)は休演

※ 前半：4月 2日(土) ～ 4月12日(火)
 ※ 後半：4月14日(木) ～ 4月24日(日)
 ※ 演目の入れ替えはございません。

第1部 午前11時開演		義経千本桜	
伏見稲荷の段	靖太夫	九郎判官源義経	勘彌
道行初音旅	清志郎	亀井六郎	吉前
静御前	綴太夫	駿河次郎	玉紋
狐忠信	織太夫	武蔵坊弁慶	菅前
ツ	小住太夫	逸見の藤太	紋市
レ	文字栄太夫	忠信	秀後
宗助	勝平	源九郎	勘十郎
寛太郎	軍兵衛	佐藤忠信	清五郎
清允	清公	近習	大ぜい
河連法眼館の段	呂勢太夫		
中	錦糸		
切	咲太夫		
ツレ	燕三郎		

第2部 午後2時15分開演		摂州合邦辻	
万代池の段	野澤松之輔 作曲	合邦三輪太夫	高安俊徳丸
合邦	合邦三輪太夫	浅香姫	合邦道心玉
俊徳丸	希太夫	奴入平	玉紋
浅香姫	南都太夫	高安次郎丸	紫郎
入平	津國太夫	合邦女房	次郎
参詣人	咲寿太夫	玉手御前	和生
次郎丸	清友	参詣人	大ぜい
合邦住家の段	中睦太夫	講家	大ぜい
前	呂勢太夫		
清	清治		
切	呂太夫		
清	清介		

豊竹咲太夫文化功労者顕彰記念

令和三年秋、豊竹咲太夫が文化功労者として顕彰されました。人形浄瑠璃文楽の太夫で顕彰されるのは四人目です。

文楽座命名一五〇年

人形浄瑠璃文楽座は、竹本義太夫が貞享元年(一六八四)に道頓堀に竹本座を旗揚げして以来、その芸系を伝える、唯一の劇団です。この劇団を代々継承した興行主の号「文楽」を冠した「文楽座」が、劇場および劇団として正式に命名されたのは、明治五年(一八七二)一月に松島文楽座(現大阪市西区)が開場した時、令和四年(二〇二二)は一五〇年に当たります。

第3部 午後5時30分開演		嬢景清八嶋日記	
花菱屋の段	藤太夫	花菱屋女房	文司
花菱屋	長玉	肝煎佐治太夫	玉輝
娘糸	滝清十郎	遊	郎志
遊	君勘次郎	遊	君郎
日向嶋の段	切千歳太夫	遣り手	君和馬
富助		小女	玉之
久炊き	三玉	飯炊き	玉延
悪七兵衛景清	玉彦	船頭	玉彦
土屋軍内	勘介	天野四郎	昇介
天野四郎	侍大ぜい	近野	侍大ぜい
蝶の道行	助国	助国	助国
小卷	芳徳太夫	小卷	助国
亘太夫	聖太夫	亘太夫	助国
薰太夫	藤蔵	藤蔵	助国
團吾	清丈	清丈	助国
友之助	錦之助	友之助	助国
錦之助	燕二郎	錦之助	助国
助国	織太夫	助国	助国
契情倭莊子	尾上墨雪 振付		